

岡山 史料ネット Newsletter Vol. 2 2019. 9

水害により傾いた倉敷市真備町の大日庵

活動報告 (2019年1月～2019年7月)

1. 総会・活動報告会

2019年7月28日(日)、岡山県立美術館講義室にて約40名の参加のもと総会・活動報告会が開催されました。

総会では議長選出後、2018年度活動総括案・2018年度決算案・2018年度会計監査について報告があり、すべて承認されました。次に2019年度役員案・2019年度活動方針案・2019年度予算案について報告があり、こちらも全て承認されました(活動方針と予算は次頁に掲載)。

総会終了後には活動報告会があり、西日本豪雨後に各地で行った古文書や仏像、SPレコードといったさまざまな被災文化財のレスキュー活動について報告がなされました。

2. 西日本豪雨被災資料修復・整理作業

2018年の西日本豪雨で被災した歴史資料の修復・整理活動を引き続き行っています。この間の活動日数は計10日、ボランティアの延べ人数は43名でした。

倉敷市真備町でレスキューしたI家文書の洗浄作業はほぼ終了し、同じく真備町でレスキューし

たH家文書の洗浄作業も残り段ボール1箱分ほどになりました。ボランティアとして作業にご参加くださった方、ご寄付をいただいた方、岡山史料ネットに関する情報を拡散してくださった方、被災文化財の現状に思いを致してくださった方など、みなさまのご支援に改めてお礼申し上げます。なおボランティアを募って行っている作業以外にも、吸水乾燥のために使用しているキッチンペーパーの交換や乾燥を終えた資料への番号付与といった補足的な作業も別日に行っています。この作業は岡山大学日本史研究室の教員と院生・学生の献身的なご協力に支えられています。

3. 岡山県立博物館展示「西日本豪雨災害被災文化財の修復完成 伝える祈りのこころー真備町大日庵の仏さまー」

2019年7月17日(水)から8月25日(日)まで、県博にて「伝える祈りのこころ」と題した展示が開催されました。その中心は、倉敷市真備町の大日庵で被災し県博に持ち込まれた仏像2体で、この仏像は岡山史料ネットの仲介によって得た助成金をもとに修復されました。

展示はさまざまなメディアでも取り上げられ、多くの方に被災文化財をめぐる取り組みについて認知してもらえたように思います。岡山史料ネットとしても、2018年3月に創刊したこのニューズレターや同年4月に開設したウェブサイトなどを利用して、さらに多くの方に活動やその意義を知ってもらえるよう努めていきます。

(文責・上村和史)



水損史料の整理・修復作業

2019年度活動方針

(1) 昨年度に引き続き2018年西日本豪雨災害の被災史資料の修復・保全に取り組む。

(2) 主として岡山県内の歴史資料等の保存・継承のため、災害等の発生時には歴史資料や広義の文化財の救出、保全、修復活動をおこなうほか、日常的にもそれらの保全、活用のための取り組みを進める。また、他地域で大規模災害が発生した場合には支援をおこなう。

(3) 歴史資料の保全や活動、災害時の対応などの経験や情報について、他の史料ネット組織や学術団体などと共有をおこなうとともに、一般市民への普及活動をおこなう。

(4) 上記活動を大学、行政機関、博物館、美術館、図書館、一般市民などの幅広い連携のもとで進める。またそのためのネットワーク構築に努める。

2019年度予算

収入の部	
項目	金額
繰越金	1,627,870
寄付金	100,000
会費 (1,000円×30人)	30,000
利子	3
計	1,757,873
支出の部	
項目	金額
修繕費	500,000
消耗品費	50,000
交通費	10,000
通信費	5,000
雑費	15,000
計	580,000
収入－支出	
収入総額	1,757,873
支出総額	580,000
繰り越し	1,177,873

レスキュー史料から

岡山史料ネットでクリーニング作業を行った、日露戦争時の軍事郵便の葉書。

戦況・現地での暮らし・故郷の人々へのメッセージなどが書かれており、描かれている絵も個性的で興味深い。日本から送られてくる絵葉書が、陣中において何よりの品である旨

が書かれているものもみられ、戦時における人々の思いや手紙の機能をよく示している一連の史料である。近世以前の文書だけでなく、近現代の和紙以外に書かれたものも、貴重な歴史資料として当時の様相を伝えてくれる。(東野将伸)



活動参加記

2019年度岡山史料ネット活動報告会に参加して

宇野 淳子

他県の資料ネットの一員として、地元（神奈川県）で水損しうる仏像にどのように対応されたのかを知りたい。また、音声のアーカイブズ資源化を研究テーマとする者として、音声のレスキュー事例も知りたいとの思いから、活動報告会に参加しました。

上村報告では、岡山史料ネットの活動から今後の展望までを見通したお話がありました。特に重要だと感じたのは連携についてです。行政等との連携はこれまでも報告されていましたが、被災後すぐに現地に入る片付けボランティアとの連携により、被災されたお宅からレスキューが行われたことを伺い、情報や活動の連携の重要性を感じました。小松原報告では、水損したSPレコードの洗浄方法や洗浄後の温湿度管理の重要性などをお話いただきました。SPレコードと一口に言っても、制作年代の違いによって素材が異なるため、同じ工程をとっても保全が難しいものもあったようです。中田報告では、水損した仏像の応急処置から仏師による修復に至る経緯などをお話いただきました。紙資料を中心にレスキューにかかわってきたため、高温と湿度が膠を溶かすことは知っていましたが、このことが原因で部材が脱落することには考えが至りませんでした。専門家との連携の重要性をここでも痛感しました。

報告会全体を通し、自分たちができることを行い、多くの人の手を重ねていくことで資料が復元・修復されることを感じました。そう感じたからこそ、さまざまな機関や個人をつないでいった岡山史料ネットの重要性を再認識する会でした。

報告会での気づきを活かし、地元での活動に反映していきたいと思います。

2019年度岡山史料ネット活動報告会「西日本豪雨と被災資料の救出保全」参加記

政次加奈子

去る2019年7月28日に、岡山史料ネット活動報告会が岡山県立美術館の講義室において開催され、西日本豪雨後のレスキュー活動が報告されました。まず、事務局長の上村和史さんは、被災資料の救出の経緯と、資料の洗浄・整理作業が現在進行中であることを説明されました。続いて、岡山映像ライブラリーセンターの小松原貢さんからは、真備町の水没家屋からのレコードの救出とその後のクリーニング作業について、岡山県立博物館の中田利枝子さんからは、真備町有井で被災した木造仏の修復作業とそこからみえてきた課題などについての紹介がありました。

私自身は、救出された資料の洗浄・整理作業に今年度から参加していましたが、今回の報告会は、豪雨災害直後からの経緯を知るよい機会となりました。また、特に印象深かったのは、災害への備えについてです。上村さんは、豪雨後の活動で、資料の所在は把握していたもののレスキューに向かった時にはすでに歴史資料が廃棄されていた事例をとり上げ、「どこにどのような歴史資料があるかという情報をまとめるだけでなく、その所有者に資料群の大切さを伝える取り組みが必要」と課題を語りました。災害の発生後という誰もが混乱する状況で、所蔵資料を廃棄するのではなく、残すという選択をしてもらうためには、日ごろから所蔵資料の重要性を発信し続けること、所有者との繋がりを絶やさないことが必要であると感じました。さらに、資料群の重要性や被災した資料の処置方法、相談可能な機関の情報、所有者のみでなく一般に周知し「協力者」を増やすことが、より多くの資料を救うことにつながると思います。

お知らせ

2019年度総会で選出された役員は下記のとおりです。

《運営委員》今津勝紀（代表委員）・浅利尚民（副代表委員）・上村和史（事務局長）・徳永誓子（会計）・村井良介（広報）・東野将伸（書記）・飯島章仁・内池英樹・佐々木守俊・杉山一雄・福富幸・山下香織・山下洋

《顧問》在間宣久

《監査委員》定兼学・清家章

歴史資料保全活動への支援募金のお願い

被災状況の調査や、被災資料のレスキュー、クリーニング作業など、活動継続のための資金が必要です。募金にご協力いただける方は、下記口座にお振り込みいただければありがたく存じます。

ゆうちょ銀行総合口座（普通口座）

【記号】15470 【番号】38569531 岡山史料ネット（オカヤマシリョウネット）

（他の金融機関からの振込の場合）

【店名】五四八 【店番】548 【預金種目】普通預金 【口座番号】38569531

2019年4月から8月までにご寄付をいただいたみなさまは以下のとおりです。また岡山大学文学部日本史研究室に設置した募金箱へも多くの募金をいただきました。記して厚く御礼申し上げます。

在間宣久・岩田牧子・コンポジショントモタ・永谷美樹恵・ミヤケコウイチ・歴史資料ネットワーク（五十音順、敬称略）

入会のご案内

岡山史料ネットは、災害から歴史資料などを守る活動を中心に、歴史資料や広い意味での文化財の保全と活用を実践的に進めるボランティア組織です。会員は大学関係者や学芸員、一般市民の方などが幅広く参加しています。入会を希望される方は、下記事務局までご連絡ください。

事務局 〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1 岡山大学文学部日本史研究室内

電話 086-251-7442

e-mail okayamasiryonet@gmail.com

URL <http://okayamasiryonet.s1008.xrea.com/>

Twitter @okayamasiryonet

GBFund

芸術・文化による
災害復興支援

●●ファンド●●

企業メセナ協議会